

|                   |  |
|-------------------|--|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 登米市<br>(04212)   |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 米山地区<br><br>(後小路・下小路・平塚・十日町・中町・三日町・新町・見通・八軒小路・砥落・追土地・清水・六軒屋敷・粟ヶ崎・瀬ヶ崎・城内・的場・猪込・鈴懸・土地込・野手谷地・斉藤・三ツ口・千貫・畑崎・狐崎・新田・中塚・鈴根・江浪・大又・相の山・今泉・貝待井・永沢・森の腰・中新田・朝来・山吉田・町吉田) |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和6年1月24日<br>(第2回)   |

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

本地区は、市の南端に位置し、総面積の70%が水田となっている。登米耕土と呼ばれる広い耕地の97%を占めている。大規模に経営する農業法人や集落営農組織に農地の集積が進む一方、同じ集落に大小複数の耕作者が交錯しており、1経営体あたりの耕作面積が増えても圃場と圃場を跨いで耕作するため、生産性の向上につながっていない。団塊世代の引退等により農地の出し手が増え、受け手となる農業法人や集落営農組織の負担が増えることから、農地交換等を行い農地の集約化、作物の団地面積拡大を行い、生産性を向上させなくてはならない。生産性の向上が実現できなければ、後継者及び雇用就農者の確保が難しくなる。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

大規模に経営する農業法人や集落営農組織（以下大規模経営体）と個人で営農する専業・兼業農家（以下個人経営体）の調和のとれた農業振興を目指す。大規模経営体は、農地交換等により農地を集約化し、大型機械の導入やブロックローテーションにより生産性を向上させ、オペレーター等の雇用就農者や後継者の確保・育成により地域の担い手不足を解消する。また、大規模経営体は、確保した人手により個人経営体に対して、簡易な圃場整備や農地交換時の代替地（ベースから近い農地、水利がよい農地など）を提供するなど営農支援を行う。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

|                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| 区域内の農用地等面積                        | 3,356 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積       | 2,904 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】 | ha       |

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は、別添地図のとおり）

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。